

指導の評価については、それらの特性に応じてなされるが、「指導計画・指導(学習)過程・指導(学習)の成果」の三つの側面から評価、改善を図つていくことが大切である。

この際、意図的・継続的な評価の計画に基づいて実施すること、できるだけ客観的なものにすること、正確な資料や記録に基づくとともに次の指導に活用しやすく整理、保管の方法を工夫することなどに留意する必要がある。

八 体 育

(一) 体育の意義と役割

最近の子供は、体格の向上が著しい反面、筋力、持久力などの体力や根気根性などの気力がこれに伴っていない現状にある。

教育課程の改善に当たって、これらの実態をとらえ、知・徳・体の調和と統一のとれた教育課程を実現しようとしていることは、全人教育の立場から当然のことといえよう。

新学習指導要領においても、従来と

同様に「総則」において体育に関する

指導の充実の重要性を明示し、学校教育の全体的立場からその推進に一層努めているよう強調している。総則で述べてある「体育」は教科としての体育はもちろん、特別活動としての体育、保健指導、安全教育、給食指導なども含み、同時に他教科・道徳などの領域を含め、「学校教育活動全体を通しての体育」

であるとしていることの意義は極めて大きいものといえる。

単に教科・道徳・特別活動の学習だけにとどまらず、それらの指導を通じて、日常生活と深く結びついた体育的活動を継続的に実践し、健康・安全の保持増進や体力の向上を図る能力や態度を育てることが強調されている。

各学校の総意による学校生活全体における体育に関する指導の充実が期待される。

(二) 体育と教育課程の編成

学校における体育に関する指導法は、学校の教育活動全体を通して行われる。したがって、その全体計画は、教科体育の指導計画、保健安全・体育的な学校行事、クラブ活動及び業間・放課後等の自由遊びなどを総合的、有機的に集成し、学校教育目標を学年別、月別に教育実践活動として具体化していかなければならない。

編成の手順

1 実態に関する調査資料の収集

ア 体格、体力の現状や推移

イ 運動時間等の実状

ウ 遊具施設の利用状況、遊びの実態等

エ 給食の残量や偏食傾向調査

オ 疾病異常や治療状況等

2 体育に関する教育目標の具現

学校における体育の意義から関連が深く、体育行事を積極的に取り入れ体力、気力の充実を図りたい。

① 道徳教育と体育

道徳教育の実践面の大部分は、学校における体育に関する指導の充実の中における体育の意義から関連が深く、体育行事を積極的に取り入れ体力、気力を充実させるための主な活動を図りたい。

② 特別活動と体育

自由時間帯のあり方とともにどれだけの時間、内容、環境を設定してやるべきかが学校経営の立場から吟味されなければならないが、要は、子供たちが自分たちの力で自発的に運動を組織化活動する、満ちたりた豊かな楽しい時間帯として、遊びや運動量の増大はもちろん、遊びや運動の創意と工夫、友達

であるとしていることの意義は極めて大きいものといえる。

日常生活と深く結びついた体育的活動を継続的に実践し、健康・安全の保持増進や体力の向上を図る能力や態度を育てることが強調されている。

各学校の総意による学校生活全体における体育に関する指導の充実が期待される。

3 原案の作成

校内の指導組織により関係者で十分検討し原案を作成する。

4 立案決定

全職員で更に十分検討し共通理解を図ることに重点をおく。

5 計画立案に際しての配慮事項

ア 具体的な計画とする。

イ 予算、時間、配当、教育課程との関連。

ウ 指導組織の中で責任分担の明確化。

・児童生徒会の予想される主な活動

ア 運動施設を利用した遊び紹介

イ 球技大会などの企画・運営

ウ 季節に応じた健康安全の啓蒙等

・当番的な補助的活動

ア 遊び用具の整理と貸し出し

イ ボール等の管理

ウ 応急処置の補助(このほか給食や交通安全に関する活動が予想される。)

・クラブ(部)活動

・運動の実践

・クラブ(部)活動の計画・運営

・成果の発表

・学校行事と体育

・学校行事の意義から関連が深く、体育行事を積極的に取り入れ体力、気力を充実を図りたい。

・自由時間と体育

・自由時間帯のあり方とともにどれだけの時間、内容、環境を設定してやるべきかが学校経営の立場から吟味されなければならないが、要は、子供たちが自分たちの力で自発的に運動を組織化活動する、満ちたりた豊かな楽しい時間帯として、遊びや運動量の増大はもちろん、遊びや運動の創意と工夫、友達